

広報かねやま

KANEYAMA



● COVER

私たちねずみ年！

有屋小の年男・年女と手作り門松

January

1

2020

No.685



■ も く じ ■ Contents

- P3 ◆かねやまわんとび
かねやま大楽校で新たなPRグッズを制作
- P4 ◆特集 みちくさしようよ!
- P10 ◆町政NEWS
- P12 ◆まちのわだい
「家庭の日」運動推進大会で繋がり深まる
蔵カフェで「語り場・スナック指出」
白岩土木建築が冬季交通安全教室開く
有屋小でオリジナル門松づくり
新庄南高金山校2年生が修学旅行で台湾へ
明安小伝統の「しめ飾り」づくり
町柔道連盟主催の金山選手権大会を開催
- P14 ◆2019年を広報写真で振り返ります!
- P16 ◆お知らせ掲示板
公益信託荘内銀行ふるさと創造基金
雪害事故防止強化月間
- P18 ◆図書室だより・ほっとクリニック vol.131
ぶんげい・東京金山会通信 No.9



同デザインの缶バッジ

かねやま大楽校の「楽生」の皆さん。手にしているのは企画・制作したトートバッグ。



交流&関係人口の拡大に一役 アイデア膨らむ若者が新たなPRグッズを

若者が楽しくいきいき暮らせるまちを目指して始まった“かねやま大楽校”（庄司大寛実行委員長）。「郷土に誇りを持つ」「金山でどう暮らしていきたいか」といった目的や課題解決のために、座学や受講生同士の交流を通して人間力を磨き、仕事でも恋愛でも積極的に行動しようとする若者の育成やスキルアップを目指して活動しています。

3年目の今年は、町民や町内企業に勤める28名の若者が、町の魅力や田舎の良さを発見する講座を受講。また、都会の人に町の魅力を発信するための、新たなPR素材の企画・制作にも挑戦しました。町観光協会（星川広喜会長）協力のもと、

英国の旅行作家「イザベラ・バード」が現代の金山を旅するイメージで3種類のデザインのトートバッグと缶バッジを完成させました。

昨年11月30日～12月1日には、東京都で行われたイベント「町イチ！村イチ！2019」などに参加し、新商品を販売。首都圏に向けて町の

魅力を発信しました。当日は、町を何度も訪れ、楽生との親交が深い、都内在住の若者も応援に駆けつけ、大いに盛り上がりました。

楽生の皆さんの思いが詰まったPRグッズ。都会と田舎の若者をつなぐ町の新しい魅力発信素材として、期待が高まります。

イザベラ・トート



「イザベラ・バードが今、金山を訪れたらどんなことを思うだろう。やっぱり美しいと言ってほしい。いにしえに想いを馳せて作り上げました。」

- 価格 【トートバッグ】 1,000円
【缶バッジ】 100円
- 場所 ホテルシェーネスハイム金山
マルコの蔵

= 今月の表紙 =

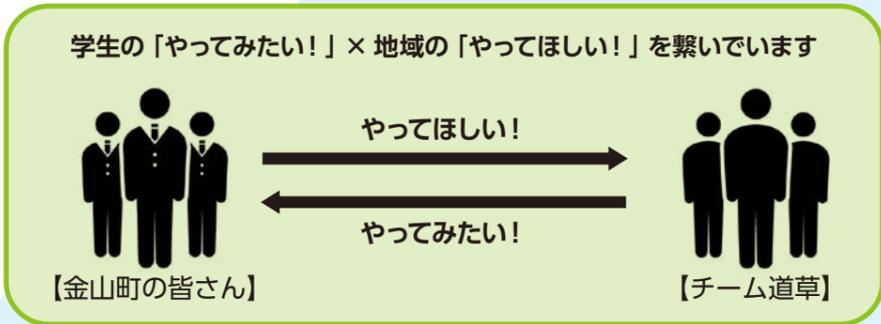


やってきました令和2年。今年はお子（ねずみ）は子年です。有屋小の年男・年女の皆さんを正月らしく手作りの門松とともに撮影。前列が5年生、後列が6年生です。春から中学生の鈴木暖生くん

は「中学校では部活と勉強を頑張りたい。残りの小学校生活は、下級生の手本として行動すると、力強く話してくれました。今年はお子（ねずみ）は子年のみんなにチューモクです！

1月行事予定表	
【町立金山診療所 診療予定】	
㊤▶ 疼痛外来 ㊤▶ 小児科外来 ㊤▶ 夕診	
1 (水)	金山町町制施行日 (95周年)
2 (木)	
3 (金)	町立診療所臨時診療日 (午前中)
4 (土)	
5 (日)	
6 (月)	もがみ北部商工会金山支部新年祝賀会 小さな拠点づくり 明安小3学期始業式 金山中登校開始日
7 (火)	1歳6ヵ月児健診 金山小3学期始業式 有屋小3学期始業式
8 (水)	すこやか相談、すくすくプレイランド ㊤
9 (木)	ベビーマッサージ ㊤
10 (金)	金山小歌会始
11 (土)	
12 (日)	消防団幹部年頭集会 りゅう馬スプリントスキーフェスタ
13 (月)	
14 (火)	絵手紙展 (20日まで)
15 (水)	心配ごと相談 ㊤
16 (木)	沖縄中部広域との児童交流 ホットさろん ㊤
17 (金)	
18 (土)	
19 (日)	神室雪まつり 第1回SHK杯クロスカントリースキー チームスプリント大会
20 (月)	小さな拠点づくり ㊤
21 (火)	わらべうた・読み聞かせ講座
22 (水)	すこやか相談 ㊤ すくすくプレイランド・ミニお話し会
23 (木)	リフレッシュヨガ教室 ㊤
24 (金)	
25 (土)	金山小校内スキー大会
26 (日)	明安小、有屋小校内スキー大会
27 (月)	心の健康相談、心配ごと相談 小さな拠点づくり ㊤
28 (火)	
29 (水)	㊤
30 (木)	㊤
31 (金)	

私たちがやっていること!

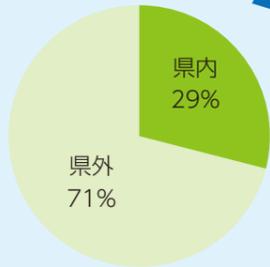


町内小中学校での学習支援やイベント運営の補助、地区行事や事業者さんの手伝いなどを行っています。いずれも町の皆さんの「やってほしい!」に応えるべく活動しています!

- 具体的には? /
- まちなか難巡り
 - かねやま街市
 - ふれスポ大会
 - 神室雪まつり
 - めぐたまマルシェ
 - めぐたま夏祭り
 - めぐたま園運動会
 - 有屋小学習支援
 - 金山中学習支援
 - 旧朴山分校活用イベント
 - 山形ふるさとCM制作
 - エヌシップさんと農作業
 - 田茂沢地区おさいとう

自然がいっぱい
街並みがきれい
地域があったかい
みんなイキイキしている
あいさつが返ってくる
美味しいものがたくさん
気前がいい
何度も来たくなる

Q1. 出身地は?

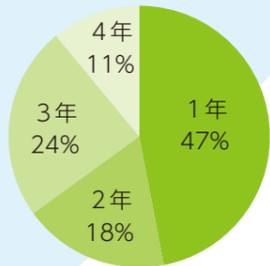


チーム道草のこと教えます!

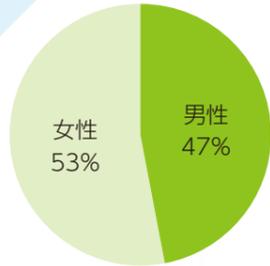
- 結成：平成25年3月
 - 所属数：133名
- ※令和元年12月時点



Q2. 学年別では?



Q3. 男女比は?



言わせてください!

「金山の好き」



「楽しい」を創っていきます。

金山と、そこに住む人が好き。だからこそ地域の期待に応えたい——。これらもチーム道草は、金山でたくさん「楽しい」を創っていきます。

発足から1年経ったとき、サークルとしてひとつの理念にたどり着きました。それは、「学生の「やってみたい!」と地域の「やってほしい!」を結び付ける」。学生が抱く夢や興味と、地域が持つ想いや地域資源を繋いで、継続的で発展的な関係を築きたいという思いがこもっています。最終的な目標は地域とひとつのチームになること。そのために、チーム道草は進化を続けます。町外で町の魅力を発信するイベントの開催や高校生とのコラボ企画など、今までの活動から一歩先ゆくアイデアも模索中のようなのです。

となる金山中学習支援が農村環境改善センターで行われ、受験を間近に控える3年生に、メンバーが自らの経験を交えて指導しました。理科を教わった樋渡基希さん(三枝)は「分かりやすく教えてくれた。勉強以外の興味のある話題を交えながら学習を進めてくれて、とても親しみやすかった」と、歳の近い先生だからこそその良さを話していました。

チーム道草の理念

特集
みちくわしよら!

山形大学地域連携型サークル「チーム道草」。平成25年に設立されたこのサークルの活動拠点は、ここ金山町。本特集では、今や100名を超える学生が所属するチーム道草がたどってきた軌跡と、見知らぬ地で、地域のためにひた走る若者たちを紹介します。



彼らが企画したKaneyama Lovers Fesでの一幕
大人も子どもも目いっぱい楽しんでいました
【写真提供】 Photo DAISUKE KURIHARA

はじまりは「道草ぶんりん」。さかのぼること約8年。平成24年の春、山形大学集中講義フィールドワーク最上の金山町プログラムにおいて、ある学生たちは金山町と運命の出会いを果たします。彼らは、自然の雄大さや人々の温かさに感銘を受け、講義外で自主的に活動を始めました。稲刈りや地域の伝統行事に参加するうち、「地域のひととの繋がりを絶やしたくない」と思うように。平成25年3月、講義の拠点となった道草ぶんこうから名前をとり、15名の同志によってチーム道草は誕生しました。

当初の目標は、「金山を知り、もっと楽しむ」。山形大学の助成金「元気づけプロジェクト」の支援を受けるなどして、町への訪問頻度を増やし、地域活動の幅を広げていきました。ここからチーム道草は、地域にとって欠かせない存在に成長していきます。

交流から生まれた活動

地域の方々との繋がりが、多くの活動が生まれました。その代表例が、町内の小中学生を対象とした学習支援。サークルの発足から程なくして、金山小学校の運動会を訪れた学生と先生との何気ない会話から生まれた活動です。12月7〜8日には、今年2回目

企画③
道草 MAPS



岡崎 空歩さん (3年)

大学生が感じる金山の魅力を感じたい！

毎年春に、金山の魅力を感じてもらえるよう、新入生向けの町内ツアーを実施し、金山の名所をウォークラリー形式で見てもらっています。

その中で出会ったオススメの場所や人、モノを若い人にも見てもらえるようピクニックマップ風にまとめました。大学生目線で、町の魅力を「形」として残すことができました。

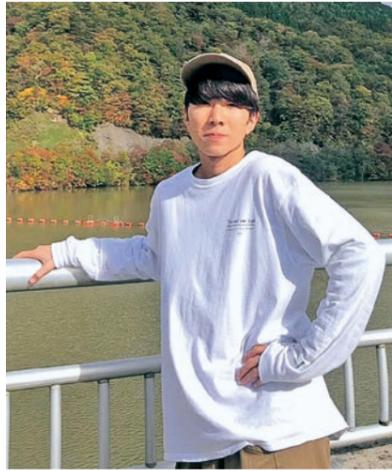
一連の事業で最初に着手したのがマップだったので、事業の進め方など苦労した点もありました。しかし、町内の各所に置いていたマップがすぐに無くなる程人気だと聞いて、地域の皆さんの反響の大きさがすごく嬉しかったです。

チーム道草と金山町、それぞれの「楽しい」が合わさったマップとなっています。役場などにありますので、まだご覧になっていない方はぜひ見ていただきたいです！



▲町中心部をメインに手書きで仕上げました！

企画②
Michikusa Travel



熊谷 穰さん (3年)

色んな金山が盛りだくさんのツアー

活動を通して多くの人に出会い、町を五感で感じ、金山町が大好きになりました。愛する金山の魅力をもっとたくさんの人に伝えたい！そんな思いから10月19～20日の2日間、町を巡るツアーを開催しました。チーム道草のメンバーを含め、町外から18名に参加いただきました。

町名の由来ともされる谷口銀山を探検したり、美しい紅葉を観賞したり、金山ならではの街並みを歩いたり、美味しいご飯屋さんやおしゃれなカフェを巡ったり、自分たちでうどんを一から作ったり…。とにかく盛りだくさんの内容でした。それぞれの場面で、たくさん楽しい、美味しい、美しいを感じていただけたツアーになったと思います。参加してくれた方からは、「楽しい2日間になった」「また金山町に遊びに行きたい」などのありがたい言葉をいただきました。このような参加者の声は、私たちチーム道草にとって、本当に嬉しいものでした。



④神室ダムでパシャリ！紅葉真っ盛りの神室の山々にみんな感動！ ⑥谷口銀山の散策はコウモリに注意。「道草いきま～す！」

みちくさしようよ！



「金山が好き」を伝えたい 感謝の気持ちをプロジェクトに

サークル結成から7年目。メンバーの多くは、ある考えを抱いていました。「自分たち以外にも、もっと多くの若い人たちに金山の魅力を発信したい——」。議論の末、彼らの導き出した答えが「かねやまラヴァーズプロジェクト」。やまがた若者チャレンジ応援事業の支援を受けて、3つの企画を立ち上げました。ここでは、それぞれのリーダーに想いを聞いていきます。

企画①
かねやまラヴァーズフェス
Kaneyama Lovers Fes



お世話になってる金山町に何か恩返しをしたいという思いから、みんなが笑顔になるイベントを企画しました。

11月4日、会場は認定こども園めぐたま園舎。町内外の飲食店や雑貨店の出店や子どもたちも気軽に楽しめるゲームなど、20のブースを設けました。天候にも恵まれ、来場者は予想以上の約200名。私たちの普段の活動を収めた写真や金山の好きなところを一人一人が書いた掲示物もたくさんの方に読んでもらえたと思います。



【写真提供 (①～⑤)】 Photo DAISUKE KURIHARA

何か大きなイベントがしたいとずっと考えていたので、それが叶ったことがとても嬉しく思います。写真のどこを切り取ってもみんなが笑っていて楽しそうで大成功のイベントになりました。初めての経験ばかりで、うまくできずに悩んだこともありましたが、

その時の苦しみを忘れてしまいうくらい、楽しかったというプラスの気持ちが大きいです。改めて、金山は人も町もまたたかい、本当に出会えてよかった場所だと感じました。これからも大好きな金山で大好きなみんなと活動していきます！

近藤 まりもさん (3年)

いつもお世話になっている皆さんにイベントを通して恩返し、たくさん縁を改めて感じて、さらに金山のことが好きになりました！



道草ぶんこう運営委員会
須藤 幸一さん

Interview ②

サークル発足のきっかけとなった道草ぶんこうを拠点に、フィールドワークの学生を長く受け入れています。縄ない・山菜採り・自然観察・そば打ちなど、たくさんのご経験を体験してもらいました。

「のんびり」が地域学習の醍醐味。純粋に楽しんでほしい一心で、学生に難しいことは求めませんでした。それが、金山を気に入ってもらえる一因だったかもしれません。大学側の要望で、来年からの受け入れは打ち切りとなり、運営委員会も解散。しかし、個人的な繋がりが切れることはありません。皆さんが社会に出てからも「ホッ」としたいときは、また道草ぶんこうを訪れてほしいと思います。



チーム道草がたどる軌跡



【写真提供】 Photo DAISUKE KURIHARA

それは金山と共に

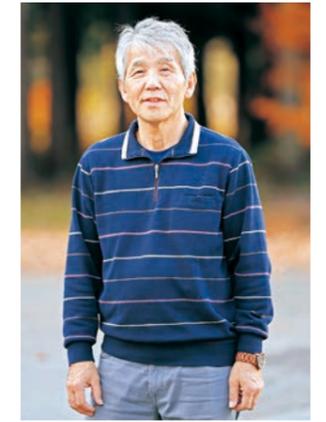


 Facebookでチェック 

日々の活動を更新中！皆さんの「やってほしい！」をメッセージでお寄せください！

Interview ①

森の案内人会
三上 俊一さん



チーム道草との出会いは、遊学の森での山形大学フィールドワークがきっかけ。今では年の離れた友達のようにプライベートでも楽しく交流しています。

道草のみんなの「金山のために何かをやりたい」という気持ちは、地域にとって本当にありがたいことだと思います。大きなイベントだけでなく、地区の小さな祭りなどにも来てくれます。大いに盛り上げてくれて、地域の思いにも応えてくれます。

受け入れる側も「何かしてやれないか」という気持ちが大切だと感じています。せっかく多くの若者が金山に来てくれているのだから、一生のファンになってもらえたら嬉しいですね。

チーム道草唯一の金山町出身者

皆さんの「やってほしい！」を教えてください

私は、現メンバーで唯一の金山町出身者です。チーム道草と出会いは中学時代。中学3年生時の学習支援で先輩方に勉強を教してもらいました。その時は「こんな活動をしている大学生がいるのか」程度しか思っていなかったのが、まさか自分が所属することになり、ましてや代表を務めることになるなんて思いませんでした。

私のモットーは「みんなで楽しく！」。先輩からいただいた「自分たちのスタンスを確立して、伝統なんか壊してほしい」というエールを

胸に、できることを地道にやっていきたいと思っています。主に最上地域、特に金山町での地域活動をメインにしているサークルであるため、出身者としては正直プレッシャー。私自身まだまだ金山のことを知らないと感じています。地元であるメリットを生かしつつも、客観的に金山町を見つめ直す機会にもなればと思っています。

チーム道草はまだまだ可能性を模索中です。金山の皆さんの「やってほしい」をもっともっと教えてください！



チーム道草 代表
千川原 香林さん



チーム道草 前代表
菊地 航平さん

1年間で金山を訪れた回数は60回

「応援しているよ」の声は活動の励みでした

チーム道草の6代目代表を務めました。昨年の山形ふるさとCM大賞のスギオ役が私です。スギオの方が、町の皆さんには浸透しているかもしれません（笑）。

数えてみたら、代表をしていた1年間で60日間も金山町を訪れていました。我ながらよくこんなに来たなと感じています。でも、「今日行きたくないな…」と思ったことは一度もありません。それは金山の皆さんがいつでも温かく迎えてくれたから。ニックネームで呼んでくれる子どもたちや、気さくに話しかけてく

れるおじいちゃん・おばあちゃん存在が、いつしか活動の励みになっていました。年賀状をくれる方もいて、金山町は第2の故郷だと心から言える存在です。

金山での活動を通して、私たち学生も人間として成長しています。地域の皆さんと触れあうことで、初々しかった新入生も自主的に住民の方と交流できるようになりました。今では「応援しているよ」と声をかけていただけるようになり、ちょっとした私たちに期待してくれているのかなと嬉しく思います。

12月20日は生産者9名で出荷作業を行い、約3トンが金山を旅立った



山形大学東北創生研究所と(株)でん六、そして町が地域農業振興協定を結び、平成30年度から取り組んでいる「落花生産地化プロジェクト」。12月20日、初年度に採れた種子から栽培した『純金山産』の落花生が、(株)でん六へ出荷されました。

12月11日には、生産者のほか、3者協定を結ぶアドバイザリー会議が挑戦する国産落花生の新産地化プラットフォーム構築事業に対し、日本財団「わがまち基金」として、1,000万円が交付されました。新庄信金の後押しもあり、地域全体で取り組んでいく体制が整っています。

来年度は栽培3年目。作ってみたいという声も増えているよう。「多方面から応援をいただいている事業。ぜひ一人でも多くの方に生産してほしい」と、青柳会長は話していました。

長きにわたり地域振興に大きく貢献 三上一雄さんが総務大臣表彰を受賞

長きにわたる様々な地域活動が評価され、三上一雄さん(柳原)が令和元年度自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰を受賞されました。

三上さんは平成11年から18年間にわたり柳原区長として地区振興に尽力。平成19年から6年間、

町区長公民館長連絡協議会会長、町青少年育成町民会議会長に就き、町全体の振興にも貢献されました。また、柳原番楽の保存継承に力を注いでいるほか、幅広い年代の地域交流の旗振り役を担うなど、多岐にわたる活動が評価されました。



12月5日に鈴木町長を訪問し、受賞を報告された



12月11日には鈴木町長から直接辞令が交付された

新たに小向達之さんが教育委員に 「次世代のために尽力していく」

平成10年から教育委員長3期を含む長きにわたり町教育委員を務められた阿部由里子さん(片貝)の退任にともない、新たに小向達之さん(檜台)が町教育委員会教育委員に就任されました。任期は令和5年12月10日までの4年間です。

現在、明安小学校のPTA会長在任中である小向さんは「子どもたちとふれ合う機会はあるが、教育に関して深く考える機会が少なかった。次世代の子ども達にとって何が一番なのかを考えていきたい」と決意を述べられました。

金山での試みを「まちづくり解剖図鑑」に 景観審議会専門委員の3名が著書を町に寄贈

金山町の景観施策の根幹を支える「街並み(景観)づくり100年運動」。その提唱時からまちづくりに携わる町景観審議会専門委員の林寛治さん、片山和俊さん、住吉洋二さんがこのたび、著書「まちづくり解剖図鑑」を出版されました。金山における約40年の試みを中心にまとめられています。



12月5日には、3名が町役場を訪れ、「若手の職員を中心に読んでいただき、これからのまちづくりに活かしてほしい」と町に150部を寄贈くださいました。なお本著書は、全国の書店で一般販売されています。



④寄贈いただいた「まちづくり解剖図鑑」。その名の通り、全ページ図解で読みやすい ⑤3名の専門委員の想いとともにも鈴木町長に直接寄贈された

まめづくり事業、今シーズンの成果はいかに 2年目のビーナッツが出荷

ザーラで構成される町新産地開発協議会(青柳栄一会長)のメンバーが集まり、反省点や今後に向けた対策を協議。「収量は3倍程度増加したが、まだまだ足りない。単収も目標に到底届いていない」などと、厳しい意見も出されました。

一方今年度は、追い風となる支援も。新庄信用金庫と同協議会が挑戦する国産落花生の新産地化プラットフォーム構築事業に対し、日本財団「わがまち基金」として、1,000万円が交付されました。新庄信金の後押しもあり、地域全体で取り組んでいく体制が整っています。

来年度は栽培3年目。作ってみたいという声も増えているよう。「多方面から応援をいただいている事業。ぜひ一人でも多くの方に生産してほしい」と、青柳会長は話していました。

保健衛生関係功労者山形県知事表彰を受賞 町衛連の会長を務める西田忠一さん

長年にわたり保健衛生業務に寄与し、その功績が特に顕著であるとして、西田忠一さん(田屋)が保健衛生関係功労者山形県知事表彰を受賞しました。

西田さんは、平成10年から町衛生組合連合会の理事や会長を歴任。平成

30年からは、県保健環境活動団体連合会会長に就任され、全県的に広く活躍されています。西田さんは受賞に際し、「多くの協力や応援があつての受賞。これからも感謝を忘れず、できる限りの仕事をしていく」と喜びを語ってくれました。



12月2日に鈴木町長を訪問し、受賞を報告された

選挙制度130周年を記念し 星川昭男さんが総務大臣感謝状

長く選挙の管理や啓発に尽力されたとして、町選挙管理委員会委員長の星川昭男さん(十日町)に、総務大臣感謝状が贈呈されました。

星川さんは平成15年に町選挙管理委員に就任。平成23年からは委員長として、現在に至るまで、

町の高い投票率の維持に貢献されています。

感謝状の伝達を受けて星川さんは「選挙管理委員の皆さんの協力あつて」と謙遜。また「投票率80%を目指して、若年層のさらなる投票を促していきたい」と、今後の目標を話していました。

明安小伝統の「しめ飾りづくり」 一人暮らし高齢者の方にもプレゼント

12月13日、明安小学校の伝統行事「しめ飾りづくり」が行われました。「しめ飾りは新年を幸せに過ごすためのもの」と聞いた児童らは、いっそう真剣な表情に。地域の皆さんと一緒に丁寧に製作していました。6年生のみんなは「毎年作ったけど、やっぱり難しい。手伝ってもらって何とか完成した」と口を揃えていました。しめ飾りは一人暮らし高齢者の方々にもプレゼントされました。



▲おじいちゃんやおばあちゃんに手伝ってもらいながら完成

▼西田さんや先生方の手助けを受けながら協力して製作



新年を幸せに迎えるために 有屋小でオリジナル門松づくり

年の瀬迫る12月11日、有屋小学校の全校児童が門松づくりに挑戦しました。西田和平さん(羽場)の指導のもと、6班に分かれて製作。縄結びや飾り付けに苦戦しながらも、立派なオリジナル門松が完成しました。児童らは「難しかったけどよくできた。地域の皆さんに見てもらえて嬉しい」と出来栄に満足そうな様子。門松は有屋地域の公民館と学校に飾られます。

▼交流した鼓山高級中学の生徒と集合写真



新庄南金山校2年生が修学旅行 初めてのことでドキドキの台湾へ

新庄南高校金山校2年生が12月8～12日の5日間、修学旅行で台湾を訪れ、初めての海外で見識を広げました。ノスタルジックな雰囲気のある街並みで知られる九份などを見学したほか、現地の高校生とも交流。最初は緊張していた生徒たちも次第に打ち解け、最終的には連絡先を交換するほどに。金山校としても台湾への修学旅行は初。生徒らのパスポート取得などのため、町でも一部を助成しました。

これからも柔道に親しんで 「金山選手権大会」昨年に引き続き開催

金山町柔道連盟主催の金山選手権大会が12月7日、新庄南高校金山校武道場で開かれました。一昨年、金山まつり柔道大会が長い歴史に幕を閉じましたが、再び畳の上で子どもたちのきらめきを取り戻したいと、2回目の開催。昨年の大会以降、子どもたちは齊木師範の胸を借りて、成長の姿を見せ、庄司倭さん(板橋)が優勝を果たし、会場には大歓声が湧きあがりました。



▲町外の柔道連盟の先生方も駆け付けて選手たちを応援した

まちの わだい



身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報情報係 ☎52-2111(内線225)

家族の絆について考える 「家庭の日」運動推進大会

町女性団体連絡協議会が主催する第43回金山町「家庭の日」運動推進大会が12月1日、中央公民館で開催され、庭月観音住職の庭崎賢恵さん(鮭川村)が講演されました。庭崎住職は「雪によって心が鍛えられている東北の人には、礼節と品格がある」と話し、みちのくのころについて説法。また、庭月の月うさぎ伝説を読み聞かせるなど、家庭や地域のつながりを考える良い機会となりました。



1_町交通安全母の会による啓発活動 2_庭月観音の庭崎住職が講演 3_星川恵子さんが大会宣言を 4_認定こども園めぐたま年長児が「金山小唄踊り」を披露

白岩土木建築が冬季交通安全教室 めぐたま年長児が雪道の注意点を学ぶ

町内の国道除雪を請け負う白岩土木建築(株)が毎年開催している冬季交通安全教室が12月17日、金山防災除雪ステーションで開かれました。冬空のもと、認定こども園めぐたま年長児が参加し、ロータリー除雪車や除雪グレーダーなど5種類の車を見学。乗車のうえ操作を体験したり、死角を確認していました。園児たちは「除雪車の近くには行かない!」と大きな声で約束していました。



▲「ここまで動くんだね」と操作しながら死角も確認する園児

▼「あれこれ、わいわい」と和やかに議論を交わした



蔵カフェで「語り場スナック」 マスターはソトコト編集長の指出さん

11月26日、ソーシャル&エコマガジン「ソトコト」編集長の指出(さしで)一正(かずまさ)さんをマスターに迎え、「語り場・スナック指出」がオープンしました。会場のカネカ蔵カフェには、平日の夜にもかかわらず、町内外から多くの人。指出さんからは、全国各地の地域課題などを事例として紹介いただきました。参加者からは、愛する地域を想う相談をぶつけるなど、「地域のいま」を共有した時間となりました。

皆さんにとって2019年はどんな年でしたか？

5月に元号が「平成」から「令和」に変わるなど、大きな節目の年になりました。

今年2020年は記念すべきオリンピックイヤー。夢と希望あふれる大会になることが期待されます。

町でも、町民の皆さんが夢や希望、そして安心感を持って、

生涯にわたり住み続けたいと思えるまちづくりを進めていきます。

12月	11月	10月	9月	8月	7月
1日	22日 13日 9日 4日 3日 2日	18日 14日 13日 5日 1日	29日 14日 4日 1日	14日 3日	31日 27日 18日 11日 7日
除雪班・スキー場従業員結団式 第43回「家庭の日」運動推進大会	大堰 鯉の越冬作業 職場体験学習「プロジェクトK」 芸術文化協会舞台発表会 Nanyama Lovers fesをめぐりたま園舎で開催 公民館大会・生涯学習推進大会	齋藤茂吉文化賞受賞の樋口勝也さんが彫刻展 岸宏一先生の胸像が役場駐車場脇に建立 台風接近により産業まつりが2年連続の中止 子供伝統芸能発表会 まちづくり会社「株式会社」設立	須藤信一さんが金山町教育長に就任 第44回とこみどりマラソン大会	令和初の金山町成人式 金山まつり開催（16日まで3日間）	第8回健康ふれあいスポーツ大会 全国中山間地域振興対策協議会現地研究会 NPO木の建築フォーラムが金山を視察 3回目となる「めぐりたまマルシェ」 新庄南高金山校が全国小規模校サミット参加 数千本が咲いた金山向日葵まつり（荒屋地区）

広報かねやまで撮影した写真とともに1年を振り返ります！

平成31年 令和元年

2019

6月	5月	4月	3月	2月	1月
30日 29日 27日 20日 11日 5日	31日 27日 3日 1日	29日 26日 11日 7日	17日 16日 1日	24日 2日	30日 29日 17日 20日
町消防操法大会で柳原消防団が5連覇 有屋小学校で伝統の相撲大会 町ゆかりのハープ奏者が蔵史館でコンサート 寿大学レクリエーション大会 夏の大参院選に向け金山校生徒が啓発活動 町小体連陸上大会	「かねやま街市」で町中心部が大賑わい 町と金山・新庄郵便局が災害時の対応や高齢者等の見守りに関してまとめた協定を締結 藻谷浩介さんが金山中生徒の前に講演	新体制で金山町議会5月臨時会 町内小学校で入学式 新入生39人が門出 かねやまハウスが旧金山保育園に移転 イタリア食科学大学の大学院生が町で研修 春の風物詩「大堰 鯉の放流」 平成最後となる春季消防演習	町公式ホームページをリニューアル 第72回金山中学校卒業証書授与式 スキーハイキングin神室を開催	第36回学童スキー大会 第62回白銀少年スキー選手権大会	第20回神室雪まつり 沖縄の児童が神室スキー場でスキー体験 広報かねやまが県広報コンクールで特選 第55回東北中学校スキー大会で金山中スキー部が大会史上初の男子リレー4連覇

11月



11月1日、健康長寿の集いには、たくさんの一人暮らし高齢者の皆さんが交流されました。

9月



9月29日、第44回とこみどりマラソン大会から、街なかを通るコースに一部変更しました。

7月



7月7日、第8回ふれスポ大会から、大縄跳びとティーボールが新種目になりました。

5月



5月3日、かねやま街市を開催。歩行者天国の七日町通りは、大いに賑わいました。

3月



3月1日、町公式ホームページを全面リニューアル。金山らしいトップページデザインに。

1月



1月11日から開催された県中学スキー大会で、金山中が男女総合5連覇を達成しました。

12月



12月17日、町交通安全母の会の松田聖子会長が、新庄警察署長にリースを贈呈しました。

10月



10月14日、岸宏一先生の生前のご功績をたたえて建立された胸像が、お披露目されました。

8月



8月25日、第24回町民ゴルフ大会では、岸三郎兵衛さんが初優勝を果たしました。

6月



6月30日、町消防操法大会において、第7分団第1部第2班（柳原）が前人未到の5連覇。

4月



4月28日、街なかライトアップ点灯式が行われ、中心部があたたかな灯りで包まれました。

2月



2月18日、金山小5・6年生が、金山こども食堂で得た利益を町に寄附されました。

つきりませんか？

マイナンバーカード(個人番号カード)

役場町民税務課 住民係
☎52-2111 (内線251)

マイナンバーカードは、顔写真付きのICカードで、身分証明書として利用できるほか、e-TAXなどの電子申請に利用できるカードです。カード裏面にマイナンバーが記載されており、カード1枚で本人確認とマイナンバーの確認ができますので、確定申告を行う際に便利です。

このマイナンバーカードは、希望者からの申請により発行され初回の手数料は無料となっています。申請から発行されるまで、1ヶ月程度かかりますので、確定申告等で利用される予定がある方は日にちに余裕をもって申請ください。



※従来の求職申込書による登録も可能ですが、お待ちいただく時間が長くなりますので、ご了承ください。

☎ ハローワーク新庄 ☎22-8609

登記のご相談は 毎週火・水・木曜日です

山形地方法務局新庄支局では、売買や相続などの不動産登記についての相談を、毎週火・水・木曜日に予約制で実施しています。ご希望の方は、日にちと時間の予約をお願いします。なお、予約がないとき又は月・金曜は実施できない場合がありますので、ご了承ください。

☎ 山形地方法務局新庄支局 ☎22-17528

司法書士無料相談所

☎023-642-1343

▼日時 1月16日・2月20日・3月19日
・4月16日 18時～20時

▼場所 山形県司法書士会(山形市)ほか

▼方法 面談による相談(相談無料)

▼申込 開催日の前日まで電話申込

☎ 山形県司法書士会 ☎023-642-1343

庄内職業能力開発センター オープンキャンパス

▼日時 1月19日(日)
9時30分～15時30分

▼学科 金属技術科

☎ 県立庄内職業能力開発センター ☎0234-131-2700

金山町政策顧問の 皆川さんが再任されました



皆川芳嗣 町政策顧問

皆川芳嗣さんを金山町政策顧問として再任し、11月27日には金山杉製の委嘱状が交付されました。委嘱期間は、令和元年10月1日から令和4年9月30日までの3年間。引き続き、町民の皆さんと意見を交えながら、活力ある町、愛着と誇りの持てる町を目指して、まちづくりへのアドバイスをいただきます。

☎ 役場総合政策課 ☎52-2111 (内線230)

あなたのチカラ 消防団で活かしませんか？

消防団は、火災や災害発生時の消火活動だけでなく、平時時も地域のために色々な活動をしています。消防団には町民の皆さんのチカラが必要です。消防団に入っていないあなたも、消防団で活躍してみませんか。皆さんの入団を大歓迎します。

☎ 役場町民税務課くらし安全係 ☎52-2111 (内線246)

愛玩鳥を飼われている方へ

愛玩鳥のうち、鶏、あひる(アイガモ、フランス鴨を含む)、うずら、きじ、ほろぼろ鳥、だちょう、七面鳥を1羽でも飼育されている方は、飼育羽数などを県知事へ定期報告する必要があります。最近飼い始めた方や今まで報告したことのない方は、ご連絡ください。

☎ 最上総合支庁家畜保健衛生課 ☎29-1357

ゆめりあからのお知らせ

【ハンドメイドマーケット】

▼日時 2月1日(土) 10時～15時

▼会場 ゆめりあ1階大廊下

▼内容 手作り品の展示・販売

▼出店 1ブース500円(電話申込)

【第10回記念ゆめりあ新春寄席】

▼日時 2月8日(土) 18時開場

▼会場 ゆめりあ2階ホール・アベージュ

▼出演 柳家メ治氏、林家楽一氏

▼費用 入場料1,000円

▼定員 93名(電話申込)

☎ 最上広域交流センター ゆめりあ ☎28-8888

ハローワークへの 求職申込方法が変わります

▼方法 ①ご自身のスマートフォン又はパソコンによる登録②ハローワーク内のパソコンによる登録

1月10日(金)から2月9日(日)は「雪害事故防止強化月間」

こちら防災やまがた

雪による事故被害の原因でもっとも多いのは、自宅などの屋根の雪下ろし作業中の事故。特に高齢者の方が事故に遭うケースが多くなっています。8つのポイントに注意して、雪下ろし作業は安全に行いましょう。また、除雪機での作業も十分注意しましょう。

安全な雪下ろし作業「8つのポイント」

- ① 気温が高い時は屋根の雪のゆるみに注意！
- ② ヘルメットを着用し安全な服装で作業しましょう！
- ③ 転落防止のため命綱を使いましょう！
- ④ はしごはしっかり固定しましょう！（足元も先端も）
- ⑤ 使いやすい除雪道具を使いましょう！
- ⑥ 2人以上で作業しましょう！（携帯電話を持って）
- ⑦ 無理な作業はやめましょう！（休憩をとりながら）
- ⑧ 足場はいつも注意！（軒先は危険。足場は慎重に）



屋根の雪下ろしを行う際は、「大丈夫だろう」と思わずに、服装も心構えも万全にして臨みましょう。

2020年度分を募集！ 「公益信託庄内銀行ふるさと創造基金」

☎ 公益信託庄内銀行ふるさと創造基金 事務局 ☎0235-28-2437

2001年に創設された「公益信託庄内銀行ふるさと創造基金」。地域住民と一体となった社会教育的な活動、県内に伝わる文化的な活動などを助成対象とする基金であり、豊かな地域を築くため、自主的・主体的な活動に取り組む団体を支援するものです。

2019年度は、明安小学校の事業が採択。撮影機材を購入し、子ども歌舞伎の稽古などに役立ちました！



募集締切	2月20日(木) ※当日必着
助成対象期間および助成対象活動	2020年4月1日から2021年3月31日までに行われる ・学校における教育的な活動 ・地域住民と一体になった社会教育的な活動 ・県内に伝わる文化的な活動 ※宗教的、政治的宣伝意図を有するもの及び営利を目的とするものは除く
助成金総額	1,000万円程度(1件10～40万円程度)
助成決定時期	4月下旬～5月上旬
申請書入手方法	庄内銀行金山支店または庄内銀行のホームページから



東京金山会通信 No.9

東京金山会 広報担当 (藤山善夫)
☎080-5525-0435
✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

11月22日、第17回最上地域ふるさと連合会総会が開催されました。当日、東京はあいにくの雨模様でしたが、会場のホテルラングウッドには「最上地域ふるさと連合会」の会員の皆さんなど133名が集いました。金山町からも、鈴木洋町長と丹敏雅総合政策課長がご参加くださいました。

東京金山会からは15名が参加し、ふるさと応援隊としてのそれぞれの活動や近況などを報告しあい、親睦を深めてきました。

最上地域出身の皆様とは、様々な活動を通してお会いする機会も多く、懐かしい方言や思い出話などの共通点も多いことから、いつも家族的で和やかな集まりになっています。

最近、ショートメールでコメントをいただけるようになりました。本当にありがたいことです。これからも、皆様方のご意見やご要望をお待ちしておりますので、気軽にご連絡ください!

●執筆担当 藤山の一言!
先日、故郷金山の実家から新米が届きました。毎年の事ですが、この時期になると20数年前の事を思い出します。日本中からお米が無くなりました(少し大げさですか?)。おかげさまで、我が家は実家からのお米があり、不自由しませんでした。スーパーやお米屋さんではタイ米との抱き合わせの販売しかなくて世の中パニック状態でした。
毎日当たり前前に食べているお米ですが、日本の農家さんに感謝ですね!



最上地域ふるさと連合会第17回総会・懇親会の様子。我が東京金山会の大場会長も壇上であいさつされました。

ふんばい

金山杉俳句会報 第四三五回

枯葉舞いカサリと過去を連れ戻す
見学の秋日に映ゆる花火館
星川 さえ子

秋深き上台峠虹の橋
園児らの歓声聞こゆるりんご園
岸 あき子

霧の帯紅葉に流る雨上がり
高橋 洋子

里山の鎮まり木の実時雨かな
満身に夕日をとどめ菊摘めり
鶴沼 よし子

幸せを噛みしめている今年米
満月や生絹のごとく雲を着て
阿部 サタエ

秋深し亡夫へ土産の駄菓子買ふ
もって菊先ずは夫へ供へけり
荒屋 関 喜美子

あれこれと急かす小春日刻待たず
茶に誘ひ沢庵漬の味自慢
菅 越 庄司 けみ子

帽子からはみ出す耳や冬に入る
そよ風や水面に燃ゆる枝紅葉
七日町 青柳 キエ子

みちのくの情けにふれし冬の旅
風たちて枯葉のおどる散歩道
七日町 柴田 栖静

木枯しや並木の道を舞ひ歩き
暮早し夕日に染まる街灯り
羽場 坂本 徳太郎

閑散と村も静かな冬構へ
老いゆくは淋しきものよ年の暮
七日町 村松 奈風

窓越しや名残の空へ掌を合はす
義理ひとつ果たして帰る歳の暮
上 台 阿部 一步

No.168 「森の子ども図書コーナー」 交流サロンぽすと内



オニのサラリーマン しゅっちょはつらいよ
富安陽子/文
大島妙子/絵
福音館書店

オニのオニガワラさんはサラリーマン。出雲に出張に行きます。千年万年昔から続く年に一度の神様の集い「神様サミット」での仕事です。子どもたちから「連れてって」と言われても、お仕事だから連れていけない。なぜ神様の会議なのにオニが手伝いに行かなくてはならないのでしょうか。それは会場警備のため。稲佐の浜に来てみれば、神様たちが波をかき分け、風に乗る、ぞくぞくと押し寄せて参ります。この空、神様以外は通行禁止なのに、ほうきに乗った魔女や、サンタクロースまでいるから仕事が大変。やっとな息ついたら何やらまた空から飛んで来た。一体誰が?

「図書室だより」中央公民館内 9:00 ▶ 16:00 今月は10冊の新刊本が入荷!

『Iの悲劇』
(米澤穂信/文芸春秋)
一度死んだ村に、人を呼び戻す。それが「甦り課」の使命だ。市長肝いりターナープロジェクト。公務員たちが向き合ったのは、一癖ある「移住者」たちと、彼らの間で次々と発生する「謎」だった。徐々に明らかになる、限界集落の「現実」。そして静かに待ち受ける「衝撃」。移住者たちのトラブルを解決するのは…。



『ツナグ 想い人の心得』
(辻村深月/新潮社)
もう一度あの人に会えるとしたら、あなたは何を伝えますか? 一生に一度だけの死者との再会を叶える使者「ツナグ」。長年にわたって務めを果たした最愛の祖母から歩美は使者としての役目を引き継いだ。7年経ち、依頼を受ける彼のもとに、亡き人との面会を望む人が訪れる。依頼者は、誰にも言えぬ想いを胸に秘めて。



町立金山診療所だより ほっとクリニック vol.131

介護予防の第一歩は食事から! 「高齢者の栄養管理」について

町立金山診療所 管理栄養士 柿崎真貴

- 健康で元気に老後を過ごすためには、栄養のバランスや規則正しく食事をすることが、非常に大切です。高齢になってくると体が不自由になったり、食事の内容が偏ったり、栄養が十分にとれていない場合が多くなってきました。
- 【高齢期の食欲不振の原因】**
- ・活動量の低下
 - ・嘔吐力・飲み込む力の低下
 - ・義歯の不具合
- 【高齢期の低栄養】**
- ① 偏りがちな食生活による食事摂取量の減少。
 - ② 加齢による消化機能の低下。
 - ③ 体に必要な栄養素の不足。
- ⇐
- エネルギー・たんぱく質が、欠乏した状態→「低栄養」という。
- 【高齢期に不足しがちな欠乏症】**
- たんぱく質
 - ・ 体力・免疫力を上げる。
 - ・ 血管が細くなり、脳卒中の危険性が高まるのを予防。
- 《たんぱく質の多い食品》
- 肉類・魚介類・卵類・大豆製品・乳製品
 - 食物繊維
 - ・ 便秘予防につながる。
- 《食物繊維の多い食品》
- 豆・穀類・野菜・きのこ・こんにゃく・海藻
 - ビタミンC
 - ・ 鉄の吸収を高める。
 - ・ 抗酸化作用。
 - ・ コラーゲンの生成に必須。
- 《ビタミンCの多い食品》
- 果物・芋類・ブロッコリー
- マグネシウム
- ・ 骨を健康に保つ。
 - ・ 体温や血圧を調整する。
- 《マグネシウムの多い食品》
- 大豆製品・木の実・海藻
 - 鉄
 - ・ 貧血予防。認知力低下予防。
- 《鉄分の多い食品》
- 赤身肉・レバー・海藻など
 - カルシウム
 - ・ 健康な骨と歯を作る。
 - ・ 精神を安定させる。
- 《カルシウムの多い食品》
- 乳製品・葉菜類・小魚
 - 亜鉛
 - ・ 味覚障害や皮膚炎の予防。
 - ・ 感染症の予防。
- 《亜鉛の多い食品》
- 牡蠣・牛肉・ごまなど
- ※栄養管理に間食は効果的!
果物や乳製品、芋類などを上手に取り入れましょう。
- 【おわりに】**
- 食は命の源です。
ご高齢者、ご家族や介助者の方々の参考に、そして今後に繋がるものとなっていただけましたら幸いです。

いまこそ集落創生

第22回 飛森地区



山形県みどり推進機構の助成を受けて整備した「貝沢ふれあいの丘」。作業写真にはシンボルの薬師山が写る。高規格道路の整備範囲に含まれているため、植樹した桜を移植するかどうか検討中だ。

新庄から金山にぬける上台峠から望む金山三峰。そのひとつ、最も西に位置する薬師山の麓に飛森地区はあります。地区名の由来を調べると、これが実におもしろい。薬師山はもともと東の熊鷹森に対して、西の鷲森と呼ばれるので、いつからか「飛びの森」になったという説が有力なよう。他にも説はありますが、金山町史にも地区名の由来として記載されています。

およそ100名(35戸)が暮らしていますが、年々戸数も人口も減少傾向。その中でも、住みよい活気ある地区を目指して、全員運営で整備などを行っています。その一例を、文化部長の三上寛治さんから伺いました。「数年前までは、冬になると道路がよく水上がりになり、困っていた。今では融雪溝が整備され、長い冬も安心して除雪できる。また、墓地に通じる道路も車で行けるように拡幅したところ、お盆の様子も変わった」と各種整備の成果を語ります。さらに、交流の場となっているのが、整備したグラウンドゴルフ場。年に一度、グラウンドゴルフ大会が開催され、終われば老若男女で焼肉を食べて盛り上がるそうです。

「比較的行事の多い地区だ」と続ける三上さん。春には各組にある花壇への花植え、夏には7つの神社の清掃や祭典、秋には運営方針を考える契約講、冬には元朝の礼やお歳灯など。「今まで通りに運営することが、難しくなってきた。行事の意味や思いを考えて、少しでも長く続けていくことが、先輩方が守ってきた地区の伝統を引き継ぐことになる」。三上さんは、活気ある地区のためにできることを力強く語ってくれました。

金山町の人口は、5,417人 (11月末現在)

	男性	2,640人 (-2)
	女性	2,777人 (-7)
	世帯数	1,755世帯

▼11月の異動

出生	1人
死亡	6人
転入	5人
転出	9人

編集 幸記

▼新年あけましておめでとうございます。皆さま、皆様どのようなお正月を過ごされましたか？
▼今年は何といても東京オリンピック・パラリンピック。個人的に楽しみなのは、陸上競技です。男子4×100mリレーでの金メダルを期待します。ところで、金山でチケットを入手した方なんているのでしょうか？もしいらっしやいましたら、広報でのルポも面白いかもしれません！
▼2020年は子年。今年はいよいよ一層チューモクされる広報紙を目指します。(つづ)